

授 業 科 目 名	必修・ 選択別	単位 数	対象 学年	学 期	曜・限	担 当 教 員
行動・精神・心理コース	必修	3	3	2	月～金	寺尾 岳 (精神科)

【科目名の英文】 Behavior, Psychiatry and Psychology

【授業の概要】

精神と行動の障害に対して、児童・思春期から老年期のライフステージに応じた正常発達と病態をわきまえた上で、症状、診断、治療を理解し、さらには患者の実存を尊重した上で、患者と医師の良好な信頼関係に基づいた全人的医療を学ぶ。

【具体的な到達目標】

《診断と検査の基本》

- ① 患者-医師の良好な信頼関係に基づく精神科面接の基本を説明できる。
- ② 精神科診断分類法を説明できる。
- ③ 精神科医療の法と倫理に関する必須項目(精神保健及び精神障害者福祉に関する法律、心神喪失者等医療観察法、インフォームド・コンセント)を説明できる。
- ④ コンサルテーション・リエゾン精神医学を説明できる。
- ⑤ 心理学的検査法(質問紙法、Rorschach テスト、簡易精神症状評価尺度 Brief Psychiatric Rating Scale<BPRS>、Hamilton うつ病評価尺度、Beck のうつ病自己評価尺度、状態-特性不安検査(State-Trait Anxiety Inventory <STAI>)、Mini-Mental State Examination <MMSE>、改訂長谷川式簡易知能評価スケール等)の種類と概要を説明できる。

《症候》

- ① 不安・躁うつをきたす精神障害を列挙し、その鑑別診断を説明できる。
- ② 意識障害、不眠、幻覚・妄想をきたす精神障害を列挙し、その鑑別診断を説明できる。
- ③ ストレスなどの心理社会的要因が症候(息苦しさ、心窩部痛、腹痛、頭痛、疲労、痒み、慢性疼痛等)に密接に関与している代表的な疾患を列挙し、その鑑別診断を説明できる。

《疾患・障害》

- ① 症状精神病の概念と診断を概説できる。
- ② 認知症の診断と治療を説明できる。
- ③ 薬物使用に関連する精神障害やアルコール、ギャンブル等への依存症の病態と症候を説明できる。
- ④ 統合失調症の症候と診断、救急治療を説明できる。
- ⑤ うつ病の症候と診断を説明できる。
- ⑥ 双極性障害(躁うつ病)の症候と診断を説明できる。
- ⑦ 不安障害群と心的外傷及びストレス因関連障害群の症候と診断を説明できる。
- ⑧ 身体症状症及び関連症群、食行動障害及び摂食障害群の症候と診断を説明できる。
- ⑨ 解離性障害群の症候、診断と治療を説明できる。
- ⑩ パーソナリティ障害群を概説できる。
- ⑪ 知的能力障害群と自閉症スペクトラム障害(autism spectrum disorder<ASD>)を概説できる。
- ⑫ 注意欠如・多動障害(attention deficit/hyperactivity disorder<ADHD>)と素行障害を概説できる。

《人の行動と心理》

(1) 生涯発達

- ① こころの発達の原理を概説できる。
- ② ライフサイクルの各段階におけるこころの発達と発達課題を概説できる。
- ③ こころの発達にかかわる遺伝的要因と環境的要因を概説できる。

(2) 行動変容における理論と技法

- ① 健康行動や行動変容を行う動機付けを概説できる。
- ② 認知行動療法を説明できる。
- ③ 心理教育を説明できる。

《加齢と老化》

(1) 老化と高齢者の特徴

- ① 認知症、うつ、せん妄の違いを説明し、それぞれの鑑別、初期対応を実施できる。

回数	授業項目	授業内容	担当講座・教員	方法
1	精神医学序論Ⅰ	精神医学の歴史	精神神経医学・寺尾	講義
2	精神医学序論Ⅱ	精神療法に役立つ哲学の知識	精神神経医学・寺尾	講義
3	精神症状学	精神科領域のあらゆる症状についての知識	精神神経医学・寺尾	講義
4	高齢者の精神症状	高齢者の幻視・幻聴を伴う疾患について	精神神経医学・寺尾	講義
5	うつ病Ⅰ	うつ病の症状学・診断学	精神神経医学・寺尾	講義
6	うつ病Ⅱ	うつ病の治療学	精神神経医学・寺尾	講義
7	双極性障害Ⅰ	双極性障害の症状学・診断学	精神神経医学・寺尾	講義
8	双極性障害Ⅱ	双極性障害の治療学	精神神経医学・寺尾	講義
9	薬物療法	向精神薬の効果・副作用・濃度管理	精神神経医学・寺尾	講義
10	生活習慣とメンタルヘルス	メンタルヘルスの維持増進に役立つ生活習慣	精神神経医学・寺尾	講義
11	支持的精神療法・認知行動療法	代表的な精神療法、認知行動療法の説明と具体例の提示	精神神経医学・河野	講義
12	知的障害	知的障害の診断と対応	精神神経医学・河野	講義
13	症状性・器質性精神病	症状性・器質性の精神病について	精神神経医学・河野	講義
14	気質と人格	気質および人格の定義	精神神経医学・河野	講義
15	パーソナリティ障害	パーソナリティ障害の診断・対応	精神神経医学・河野	講義
16	精神保健福祉法と医療観察法	精神科に特有な法律の説明と具体例の提示	精神神経医学・河野	講義
17	統合失調症Ⅰ	統合失調症の症状学・診断学	精神神経医学・平川	講義
18	統合失調症Ⅱ	統合失調症の治療学	精神神経医学・平川	講義
19	精神医学史	精神医学の歴史について	精神神経医学・平川	講義
20	不安障害	不安障害の症状学・診断学・治療学	精神神経医学・平川	講義
21	強迫性障害	強迫性障害の診断・治療	精神神経医学・平川	講義
22	死生学	生と死の見方とその歴史について	精神神経医学・平川	講義
23	臨床における言葉かけのコツ	臨床現場での具体的な言葉かけの提示	精神神経医学・平川	講義
24	意識障害・せん妄	代表的な意識障害の鑑別・診断・治療	精神神経医学・井上	講義
25	緩和ケア	進行がん患者に対する精神的ケア	精神神経医学・井上	講義
26	睡眠障害	睡眠障害について	精神神経医学・井上	講義
27	性別違和	性別違和の診断・対応	精神神経医学・井上	講義
28	ライフサイクルにおけるこころの発達	エリクソンの発達段階やマラーの分離・個体化過程など心理的成長の理論の紹介	精神神経医学・泉	講義
29	児童思春期精神医学	児童思春期精神医学入門	精神神経医学・泉	講義
30	摂食障害	摂食障害の診断・治療	精神神経医学・泉	講義
31	ASDとADHD	発達障害と注意欠如多動性障害の診断・治療	精神神経医学・泉	講義
32	ECT・クロザピン	電気けいれん療法、クロザピン治療について	精神神経医学・衛藤	講義
33	コンサルテーション・リエゾン精神医学	身体科と精神科との双方向的な連携	精神神経医学・衛藤	講義
34	依存症	ギャンブル依存症、アルコール依存症等の症状・治療	精神神経医学・室長	講義
35	自傷・自殺	自傷・自殺企図の対応・治療	精神神経医学・室長	講義

36	精神科救急	精神科救急の目標と実際	精神神経医学・室長	講義
37	精神科クリニック	精神科クリニック通院での診療について	精神神経医学・駄阿	講義
38	適応障害	ストレスが原因で生じる精神症状	精神神経医学・佐藤	講義
39	身体症状症 解離性障害	身体症状症・解離性障害の診断・治療	精神神経医学・佐藤	講義
40	心理検査	神経心理検査の説明と分類	精神神経医学・糸長	講義
41	ソーシャルワーク	精神科医療のソーシャルワークについて	精神神経医学・岩田	講義
42	精神科 リハビリテーション	精神科作業療法およびデイケアについて	精神神経医学・山下	講義
43	作業療法	精神科の作業療法について	精神神経医学・甲斐	講義

【アクティブラーニングの内容】 学生に正解のない質問を行い、なぜその回答に至ったのかを掘り下げて問うことにする。	【その他の工夫】 全人的医療を学んでもらうために、実存的アプローチを、序論やうつ病、双極性障害の講義の中で伝授する。患者の人生における条理のみならず不条理への対応ができる医師に育ててもらうことを目標とする。
--	---

【時間外学修の内容と時間の目安】 講義内容に関連した書物を読み、知識・教養の幅を広げる。目安は10時間とする。

【教科書】 指定はしない。

【参考書】 双極性障害の診かたと治し方：科学的根拠に基づく入門書（寺尾 岳、2019、星和書店）、精神科とは無縁と思っていたあなたが困ったときに精神科を味方につけるための本（寺尾 岳ほか、2020、星和書店）
--

【成績評価の方法及び評価割合】 講義中に学生を個別に指名して出欠を確認するとともに、質問を行う。 このときに欠席している学生は本試の筆記試験(100満点)の成績から所定の点数を差し引く。
--

【注意事項】 本試は選択問題で構成されるが、再試は記述問題となることがある。いずれも60点未満を落第とする。
--

【備考】

教員の実務経験の有無	○	医師
教員以外で指導に関わる実務経験の有無	○	臨床心理士、作業療法士、精神保健福祉士、
実務経験をいかした教育内容	医師：精神科領域についての講義を行う。 臨床心理士：心理検査の具体的な内容を講義する。 作業療法士：精神科リハビリテーションならびに作業療法の具体的な内容を講義する。 精神保健福祉士：精神科ソーシャルワークの具体的な内容を講義する。	
授業形式	対面授業	